

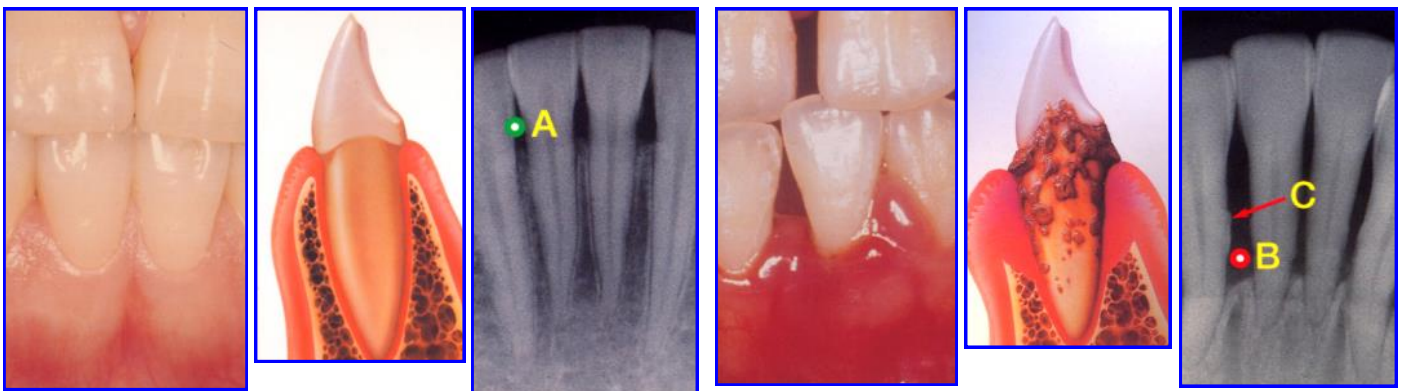
歯周病とは

歯を失うのは、虫歯だけが原因ではありません。虫歯と同じくらいの割合で、歯周病が原因で歯を失っているのです。

歯周病とは、どんな病気でしょうか。歯に付着した歯垢(プラーク)の中の「細菌」や「かみ合わせ」によって炎症が起こり、歯の周囲の歯ぐきや顎の骨といった、歯を支える組織が破壊されていく病気です。

なんと成人の約8割がかかっているといわれています。骨にまで炎症がひろがると、骨がとけて歯が抜け落ちてしまうことがあるのです。事実、歯が失われる原因の約45%が歯周病によるものという調査結果も出ています。最近では、この歯周病を生活習慣病の一つとして捉えられています。

歯周病は虫歯のような痛みがなく、いってみれば自覚症状のないまま進行していく病気です。それだけに治療ができずにじわじわと病気を進行させてしまう恐れがあります。そのいちばんよい解決法は、定期的に歯科医院で定期検診を受けること。プロが見れば歯周病はすぐにわかります。早期発見できれば、むし歯と違って改善することが可能です。検診はとっても重要です。予防から基本的治療、専門治療、メンテナンスまで一貫してケアしてゆくことをおすすめします。



健康な歯茎はピンク色で引き締まっています。レントゲンではしっかりあごの骨が歯を支えています (A)。

歯周病になった歯茎は「赤み」がかり、腫れて、ブヨブヨしています。レントゲンでは歯を支えている骨が少なくなり (B)、歯の表面には歯石 (C)が認められます。

歯周病の検査

歯周ポケットの深さを検査したり、X線写真やお口の中の写真を撮影して歯周病の進行の程度を診断するために検査を行います。(保険診療では治療の各ステップごとに検査が義務付けられています。)

健康な歯周ポケットは1~2mmです。数値が大きいくほど歯周病が進行しているといえます。

図左：歯周病の進行の様子を示しています。右に行くほど歯周病が進行しています。

黄色いところ：プラークといわれる細菌の塊 (バイオフィルム)
黒いところ：プラークが石灰化して、歯石になったところ



図右：歯周ポケットの深さを図っているところ

歯周治療の流れ

歯周病の進行具合によっていろいろな治療法がありますが、保険診療ではルールが決められています。

歯周病の治療は大きく分けると「歯茎や顎の骨の炎症の原因になっている、細菌や歯石などの異物を徹底的に取り除くこと」と、「一部の歯が負担過重にならないような噛み合わせの調整」の2点です。

治療の流れは

- 1、検査
- 2、大まかな歯石除去
- 3、検査
- 4、歯周ポケット内のクリーニング
- 5、検査
- 6、歯周外科治療
- 7、検査
- 8、定期的なメンテナンス

となっております。

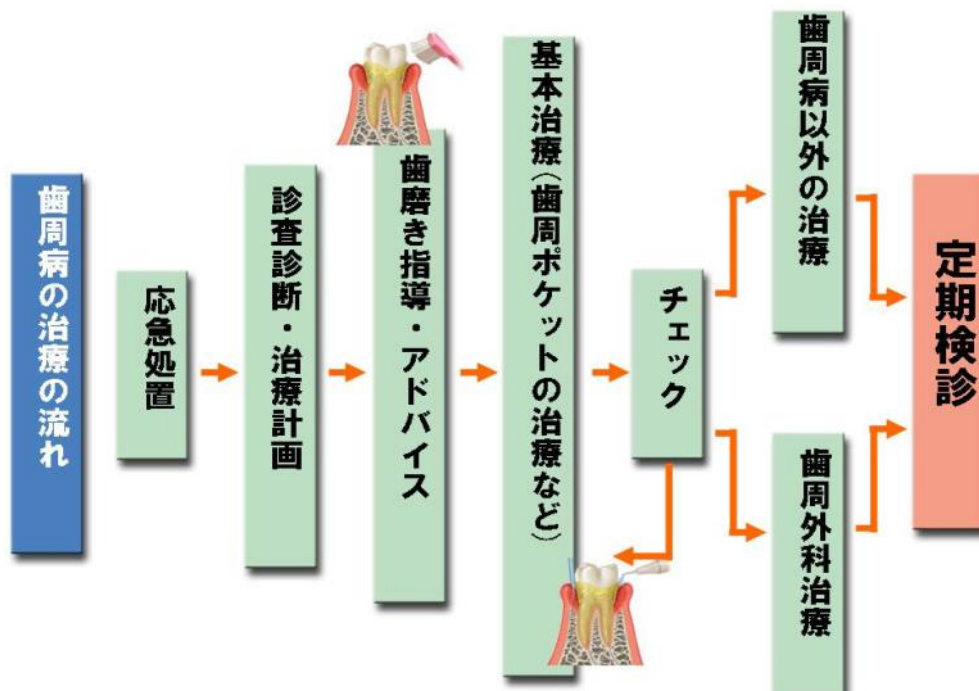
患者さんの希望や都合をふまえ、相談して治療法を決めていきます。

治療法に関しましては院長やスタッフにお気軽にお尋ねください。

われわれは患者さんの治療のお手伝いをさせていただきますが、もっとも大切なことは患者さん御自身による日々のプラークコントロール（歯磨きなど）です。これ以上歯周病が進行しないよう一緒にがんばっていきましょう。

最後に歯周病を予防するには、子どもの頃から取り組む必要があります。予防法としては、食事の後の

ブラッシングをきちんと行うこと。また、定期的に検診を行い、歯科医師などの専門家によるケアを実施していくことも必要です。



いこの歯科クリニック
Tel 093-391-1238

